ボーリング柱状図

調　査　名　平成28年度 その他河川 東川 通常砂防事業に伴う業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	No．1	調査位置	広島県豊田郡大崎上島町木江			北緯	34° 14’ 26.4811″
発注機関	広島県西部建設事務所 東広島支所			調査期間	平成 29年 2月 20日 ～ 29年 2月 21日	東経	132° 54’ 49.3283″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	78.33m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 31°	使用機種	試錐機	D1-B48（東邦地下）	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	5.00m								エンジン	NFD-13（ヤンマー）	ポンプ	SP-40B（YBM）

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	77.73	0.60	0.60		砂質粘土	暗黄褐			表層10cm表土 以深崩積土砂。含水小の粘土。 細礫点在。	2/21 0.80	1.15	8	11	12	31／30	31							
1	76.73	1.00	1.60		粘板岩風化土、粘土	暗褐		極硬	粘板岩の強風化帯 風化が進み土砂化が著しい。粘土状コアで採取される。 DM級，硬質粘土に区分		1.45												
2	75.83	0.90	2.50		風化粘板岩、軟岩Ⅰ	淡灰	極密		コア状態は上位に似るが，礫混じり粘土状コアで採取される。 DH級，軟岩Ⅰに区分	2/22 2.30	2.15	38	12／2		50／12	125.0							
3	73.33	2.50	5.00		粘板岩、軟岩Ⅱ	暗黒灰	極密		基盤である粘板岩。珪質脈及び片理は約20度。 コア長L=10cm程度の棒状コアで採取，割れ目は褐色化し軟質化。 岩質は堅硬緻密であるが，片理沿いに割れる CM級，軟岩II		2.27 3.00	50／3			50／3	300.0							
4											3.03 4.00	貫入不能			50／0								
5											4.00 5.00	貫入不能			50／0								3/21
6											5.00												
7																							
8																							
9																							